■見る・聴く・話す・伝えるゲーム

注意深く見比べたり、耳をすましてよく聴いたり、物の名前などを伝えたりするゲームです。
声に出して言葉にすることで名称を覚えたり事象の理解につながります。

●聴いた事を思い出して探す

ここでは、伝える（読む）人とカードを探す人が交代するゲームを紹介します。
両方の役割を経験することで、伝える力や聴く力を育みます。

・動物の鳴きまねを聴く

課題カードに描かれた動物は8種類
「ワンワン、ニャー、モー、パオーン、ゲロゲロ、カァカァ、コケコッコー、ポッポー」

鳴きまねを聴いた後、手札から動物を探します。

LC-16　**鳴いたのはだれ？**　￥3,080（税込）
5歳位～ /2～4 人 / 課題カード×10 動物カード×43/ カード：W6.2×D10cm
何の動物が鳴いたか覚えていますか？課題カードに描かれた動物の鳴きまねを聴き、5枚の手札の中からその動物を探します。動物は全部で20種類。一番多く動物を当てた人が勝ちです。

・4つのヒントを聴く

みんなで楽しめるよう、通常より大きなしっかりとしたカードです。

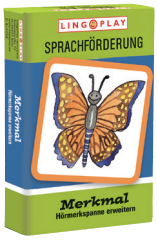
魔女が
①乗っている物
②連れている動物
③傘を持っているかどうか
④履いている物
について伝えます。

例：ほうきに乗って、カラスを連れて、
傘は持たずに赤いブーツを
履いている魔女はどこですか？

BC-7　**魔女のおでかけ**　￥3,520（税込）
5歳位～ /2 人～/ 約 20 分 / カード×32(16 組)/ カード：W8.9×D12.6cm
課題カードを1枚めくりお出かけをする魔女の様子を一人が言葉で表し、他の人はそれを聞いて、場に広げてある16枚のカードから探します。一番早く見つけた人がカードをもらうことができます。

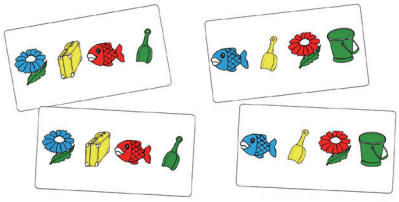
・物の名前を聴く

カードに描かれた3つまたは4つの物の名前が読み上げられるのを聴きます。左端の絵から順番に読み上げるのでその順番通りに描かれたカードを場に広げてある17枚の中から探します。一番早く見つけた人がカードをもらうことができます。目をつぶって聴けばより難しくなります。　カード：W5×D10cm



読み上げる時：「さる、りんご、トマト、でんわ」

DC-1　**順番ゲーム・蝶**　￥2,420（税込）
4歳位～ /2 人～/ 約 20 分 / カード×34（17 組）



読み上げる時：「青いはな、黄色いかばん、赤いさかな、緑のスコップ」

DC-3　**順番ゲーム・花**　￥2,420（税込）
7歳位～ /2 人～/ 約 20 分 / カード×34（17 組）
物と色の名前を読み上げるので難しくなります。

●身体を使って伝える・見たものを思い出して探す

みんなで楽しめるよう、通常より大きなしっかりとしたカードです。

BC-2　**コブタの体操ゲーム**　￥3,520（税込）
4歳位～ /2～6 人 / 約 20 分 / カード×32(16 組)/ カード：W8.9×D12.6cm
身体で表現するゲームです。カードを1枚めくりイラストと同じポーズをします。それを見て他の人は場に広げてあるカードの中から同じポーズのカードを探します。一番早く見つけた人がカードをもらうことができます。
人数に関係なく室内で身体を動かしたい時にも楽しめます。